

岡山畜産便り1961.03

加本鳥取県畜産課長からのお便り

昨年末をもって、在職13年間の岡山県を去り、鳥取県畜産課長に栄転されました加本課長から、御活躍中の近況についてつぎのようにお便りが寄せられ、同時に退職時の写真が送付されてきましたので御紹介いたします。(編集係)

御無沙汰していますがもう鳥取に来て1月を過ぎました。来鳥早々仕事に追い廻され全く休む日もない有様でそれだけにゆっくり便りを書く気にもなりません。上京も2回、その間京都・大阪にも廻り予算や仕事の運びにとび廻っています。

目下懸案は団体統合、家畜の流通、試験機関の整備、中小家畜試験場新設等で予算決定と相俟って仲々張合があります。

当地は御承知のようにくもり、後雨か雪の連続で農村は見た目もわびしく寒々とした風景です当地に来て以来青空を仰ぐ日は珍らしく時に東海道筋を通ると

き車窓から見る空の色が懐かしい位です。それでも人情は確かに温かく寒い外気に比べて心温まることは事実です。



(左から三木県知事、加本課長)

(中略) 何れその中仕事のことで岡山へ御伺いする機会もあるかと存じますが、今の所の都合では3月になると思います。では御自愛を祈ります。同封の写真は去る12月28日退職辞令を頂いた時の記念撮影です。

2月14日

加 本 生

岡山畜産便り1961.03